

# 多発性骨髄腫 VRd療法

コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_Do	WHEIGHT01_Do	#VALUE!

投与スケジュール : 1コース : 21日間

使用薬剤 : ボルテゾミブ : ボルテゾミブ 3mg/V  
 レナリドミド : レナリドミド カプセル5mg  
 デキサメタゾン (DEX) : レナデックス錠4mg

注意 : 適正使用ガイドに準じる

- ※ 末梢神経障害、間質性肺炎の定期的チェック。
- ※ 発症時は用法用量に従い減量～中止。
- ※ 催奇形性を有する可能性があることから、妊娠する可能性のある女性患者にレナリドミドを投与する場合は、レナリドミド投与開始4週間前及び本剤投与開始3日前から投与開始直前までに妊娠検査を実施し、妊娠していないことを確認後に投与を開始すること。また、レナリドミドの治療中は4週間を超えない間隔で、レナリドミドの投与終了の際はレナリドミド投与終了時及び投与終了4週間後に妊娠検査を実施すること。
- ※ レナリドミド投与開始から投与中止4週間後まで、献血、精子・精液の提供をさせないこと。□
- ※ 深部静脈血栓症又は肺塞栓症があらわれることがあるので、患者個人のリスクにあわせて必要であれば抗凝固療法、検査等を行うこと。

腎機能 (CLcr)	用法用量
中等症腎機能障害 30 ≤ CLcr < 60ml/min	レナリドミド 10mgを1日1回投与で開始し、2コース終了後忍容可能な場合は15mgに増量できる
重症腎機能障害(透析不要) CLcr < 30ml/min	レナリドミド 15mgを2日に1回投与
腎症腎機能障害(透析必要) CLcr < 30ml/min	レナリドミド 5mgを1日1回投与 (透析日は、透析後に投与)

投与量 :

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
ボルテゾミブ	1.3 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1, 4, 8, 11
レナリドミド	25mg			1~14
レナデックス錠	20mg			1, 2, 4, 5, 8, 9, 11, 12

<< タイムスケジュール : 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day 1, 4, 8, 11    1月1日 (土)    1月4日 (火)    1月8日 (土)    1月11日 (火)

0:00    ① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg

15分で点滴静注

0:15    ② 生理食塩液 50mL + ボルテゾミブ 0.0mg

※調製時は、生理食塩液20mLを抜き。全量を30mLとする。

全開(3~4分)で点滴静注

0:30    ③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

Day 1~14 ;    1月1日 (土)    ~    1月14日 (金)

内服    レナリドミド Cap 5mg    0 Cap

Day 1, 2, 4, 5, 8, 9, 11, 12 ;    1月1日 (土)    1月2日 (日)    1月4日 (火)    1月5日 (水)

1月8日 (土)    1月9日 (日)    1月11日 (火)    1月12日 (水)

内服    レナデックス錠 4mg    0 錠

## REFERENCE

Brian GM Durie, Antje Hoering, Muneer H Abidi, et al: Lancet 2016; doi:10.1016/S0140-6736(16)31594-X.

Bortezomib with lenalidomide and dexamethasone versus lenalidomide and dexamethasone alone in patients with newly diagnosed myeloma without intent for immediate autologous stem-cell transplant (SWOG S0777): a randomised, open-label, phase 3 trial

2019年12月度化学療法プロトコル審査委員会承認 : 2019年12月9日